平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場会社名　株式会社 ナガセ　　上場取引所　大
コード番号　9733　URL　http://www.toshin.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 永瀬昭幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長　(氏名) 重清安雄　TEL 0422-45-7011

四半期報告書提出予定日　平成24年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,700	△4.1	△1,126	―	△1,216	―	△850	―
24年3月期第1四半期	6,988	4.7	△1,268	―	△1,340	―	△995	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△888百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　△1,020百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△88.86	―
24年3月期第1四半期	△103.88	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	35,148	7,649	21.8
24年3月期	38,783	9,421	24.0

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　7,649百万円　24年3月期　9,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	80.00	80.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	80.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,229	5.4	4,867	10.3	4,529	11.4	2,283	19.4	238.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	10,148,409 株	24年3月期	10,148,409 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	573,219 株	24年3月期	571,219 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	9,575,948 株	24年3月期1Q	9,581,076 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項…… 3
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記…… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から緩やかに回復しつつあるものの、米欧諸国の財政危機や、長期化する円高、株価の低迷などにより、景気の先行きは不透明であり、個人消費の面では、雇用環境、所得環境とも好転に至っておりません。

当業界では、教育に対する国民の関心が高く、民間教育に対する期待も大きくなっております。また、学習指導要領においても「生きる力の育成」を目標に掲げ、単に知識の習得に留まらず、それを活用する力の育成を目指すなど、ますます教育内容の多様化、個別化が進んでおります。各企業は、少子化による市場縮小に加え、生徒、父母が求める教育サービス水準の高まりと、厳しい選別に直面しており、企業間競争は激しく、二極化の様相を呈しております。

こうしたなか、当社グループでは、主要部門である高校生部門（東進ハイスクール、東進衛星予備校等）、小・中学生部門（四谷大塚、東進スクール等）、スイミングスクール部門（イトマンスイミングスクール）を中心に、「独立自尊の社会（世界）に貢献する人財の育成」を教育理念として、提供するコンテンツの充実や受講環境整備など、「知育、体育、徳育」を総合的に行える体制の構築を一貫して進めてまいりました。この成果は、今春も東京大学をはじめとする難関大学の合格実績伸長として結実しております。

当第１四半期連結累計期間は、営業収益が6,700百万円（前年同期比4.1%減）となり、対前年同期で288百万円の減少となりました。高校生部門をはじめ、主要部門は堅調に推移いたしましたが、当連結会計年度より株式会社ナガセピーシースクールを連結の範囲から除外したことにより、前年比減少となりました。なお、前年の同社営業収益等365百万円を考慮した同条件の比較では、77百万円（1.2%）の増加となっております。

費用面では、旧帝大を対象とした学校別模試の開発、実施など、学力向上に焦点を絞った積極的な施策を進める一方、各部門において引き続き業務改善、効率化に取り組み、費用合計では7,826百万円と、前年同期比で429百万円の減少（うちナガセピーシースクール分387百万円）となりました。

この結果、営業損失1,126百万円（対前年同期141百万円の改善）、経常損失1,216百万円（対前年同期123百万円の改善）、四半期純損失850百万円（対前年同期144百万円の改善）となりました。

当社グループでは営業収益の計上が生徒募集期に当たる第３、第４四半期に集中し、第１四半期から第２四半期にかけては、費用計上が先行する傾向があります。

なお、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社ナガセピーシースクールについては、当社が当該会社の意思決定機関を支配するための要件を満たさないこととなったため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。この影響を考慮した、前年同四半期比の各数値は下表のとおりであります。

（単位：百万円）

	当第1四半期	子会社異動の影響を考慮した前年同四半期比		
		前第1四半期	増減額	増減率
営業収益	6,700	6,623	77	1.2%
営業利益	△1,126	△1,245	119	－
経常利益	△1,216	△1,315	99	－
四半期純利益	△850	△966	115	－

（セグメント別の状況）

当第１四半期連結累計期間における各セグメントごとの業績は次のとおりです。
なお、セグメント利益（または損失）は四半期連結損益計算書の営業損失に調整額を加えたものであります。

①高校生部門

当部門は、東進ハイスクール、東進衛星予備校等で、主に高校生を対象とした教育事業を行っております。当第１四半期連結累計期間のセグメント売上高は3,405百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益は69百万円（前年同期比63.2%減）となりました。

②小・中学生部門

当部門は、四谷大塚、東進スクール、東進育英舎等で、主に小学生、中学生を対象とした教育事業を行っております。当第１四半期連結累計期間のセグメント売上高は1,486百万円（前年同期比7.3%減）、セグメント損失は371百万円（対前年同期56百万円減）となりました。

③スイミングスクール部門

当部門は、イトマンスイミングスクールとして、主に水泳教室、フィットネスクラブの運営を行っております。当第１四半期連結累計期間のセグメント売上高は1,546百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は65百万円（対前年同期113百万円の改善）となりました。

④ビジネススクール部門

当部門は、東進ビジネススクール等で、主に大学生、社会人を対象とした教育事業を行っております。当第１四半期連結累計期間のセグメント売上高は152百万円（前年同期比26.5％増）、セグメント損失は1百万円（対前年同期65百万円の改善）となりました。

⑤その他部門

その他部門は、出版事業部門、こども英語塾部門、国際事業部門を含んでおります。なお、当連結会計年度より、株式会社ナガセピーシースクールを連結の範囲から除外したため、ＰＣスクール部門を除いております。当第１四半期連結累計期間のセグメント売上高は297百万円（前年同期比53.0％減）、セグメント損失は1百万円（対前年同期58百万円の改善）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における財政状況は、前連結会計年度末に比べ総資産が3,635百万円減少し35,148百万円に、純資産が1,772百万円減少して7,649百万円となっております。総資産の減少は、主に流動資産の減少3,424百万円によるものですが、これは、生徒募集期である期末に増加した資金や、順調に回収された売掛金を、運転資金や法人税等の支払などに充当したことによる現金及び預金の減少が主な要因となっております。また、固定資産では、のれんの償却が進むなど、全体としては210百万円の減少となる21,557百万円となりました。

なお、純資産の減少は、配当金766百万円、および当第１四半期純損失850百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

教育業界は、引き続き厳しい経営環境に置かれておりますが、当社グループにおいては、既存部門を中心に生徒数は増加傾向にあり、夏期特別招待講習など、募集活動も順調に推移しております。

この状況を踏まえ、平成25年3月期の連結通期業績予想につきましては、前回発表（平成24年5月1日付「平成24年3月期 決算短信」）の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後のさまざまな要因により、異なる結果となる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,269,206	9,375,443
受取手形及び売掛金	2,276,210	1,101,541
商品及び製品	305,953	423,335
その他のたな卸資産	183,686	211,272
前払費用	1,095,431	1,142,527
繰延税金資産	445,843	900,842
その他	469,007	459,267
貸倒引当金	△29,990	△23,866
流動資産合計	17,015,350	13,590,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,096,087	4,973,029
工具、器具及び備品（純額）	514,958	538,711
土地	3,779,010	3,779,010
建設仮勘定	522,686	522,686
その他（純額）	142,322	133,593
有形固定資産合計	10,055,066	9,947,032
無形固定資産		
のれん	528,033	396,025
その他	2,197,404	2,077,962
無形固定資産合計	2,725,438	2,473,987
投資その他の資産		
投資有価証券	2,564,045	2,835,963
長期貸付金	105,902	173,783
長期前払費用	636,967	643,577
敷金及び保証金	4,439,243	4,258,807
繰延税金資産	899,747	955,966
その他	435,311	429,061
貸倒引当金	△93,352	△160,311
投資その他の資産合計	8,987,864	9,136,848
固定資産合計	21,768,369	21,557,868
資産合計	38,783,719	35,148,233

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	387,069	368,671
短期借入金	3,678,994	6,061,239
未払金	2,724,425	2,077,613
未払法人税等	2,076,824	119,345
前受金	2,437,118	2,908,754
賞与引当金	432,101	742,875
役員賞与引当金	35,411	13,204
返品調整引当金	29,864	28,312
預り金	2,287,137	777,392
その他	1,617,601	1,331,277
流動負債合計	15,706,547	14,428,687
固定負債		
社債	6,465,000	6,315,000
長期借入金	3,852,839	3,453,993
退職給付引当金	1,371,968	1,370,053
役員退職慰労引当金	667,849	675,229
資産除去債務	980,262	973,317
その他	317,306	282,284
固定負債合計	13,655,226	13,069,877
負債合計	29,361,773	27,498,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,138,138	2,138,138
資本剰余金	2,141,151	2,141,151
利益剰余金	6,531,115	4,913,659
自己株式	△1,296,918	△1,301,603
株主資本合計	9,513,487	7,891,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△198,712	△219,458
為替換算調整勘定	△5,454	△22,218
その他の包括利益累計額合計	△204,166	△241,677
少数株主持分	112,625	－
純資産合計	9,421,946	7,649,669
負債純資産合計	38,783,719	35,148,233

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業収益	6,988,406	6,700,397
営業原価	5,991,950	5,692,659
営業総利益	996,455	1,007,737
販売費及び一般管理費	2,264,582	2,134,026
営業損失（△）	△1,268,126	△1,126,288
営業外収益		
受取利息	5,583	3,209
受取配当金	37,118	35,291
受取賃貸料	5,857	5,857
貸倒引当金戻入額	5,032	5,376
その他	17,131	26,499
営業外収益合計	70,723	76,233
営業外費用		
支払利息	61,268	53,829
貸倒引当金繰入額	－	67,937
その他	81,418	44,750
営業外費用合計	142,686	166,517
経常損失（△）	△1,340,089	△1,216,572
特別損失		
固定資産処分損	11,980	11,501
投資有価証券評価損	19,999	－
減損損失	9,687	－
特別損失合計	41,668	11,501
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,381,758	△1,228,074
法人税、住民税及び事業税	69,861	116,382
法人税等調整額	△456,311	△493,513
法人税等合計	△386,450	△377,131
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△995,307	△850,943
四半期純損失（△）	△995,307	△850,943

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△995,307	△850,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,256	△20,746
為替換算調整勘定	△2,238	△16,763
その他の包括利益合計	△25,494	△37,510
四半期包括利益	△1,020,802	△888,453
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,020,802	△888,453

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	高校生部門	小・中学生部門	スイミングスクール部門	ビジネススクール部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,275,411	1,590,836	1,485,028	120,610	6,471,887	516,518	6,988,406	－	6,988,406
セグメント間の内部売上高又は振替高	123,741	12,881	－	－	136,623	117,056	253,679	△253,679	－
計	3,399,152	1,603,718	1,485,028	120,610	6,608,510	633,575	7,242,086	△253,679	6,988,406
セグメント利益又は損失（△）	189,814	△314,865	△47,363	△67,447	△239,862	△59,453	△299,315	△968,810	△1,268,126

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等を含んでおります。
２　セグメント利益又は損失（△）の調整額△968,810千円には、セグメント間取引消去1,600千円、のれん償却額△228,444千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△741,966千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	高校生部門	小・中学生部門	スイミングスクール部門	ビジネススクール部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,333,258	1,472,957	1,546,260	152,555	6,505,032	195,365	6,700,397	－	6,700,397
セグメント間の内部売上高又は振替高	71,863	13,751	－	－	85,614	102,239	187,853	△187,853	－
計	3,405,121	1,486,708	1,546,260	152,555	6,590,646	297,605	6,888,251	△187,853	6,700,397
セグメント利益又は損失（△）	69,813	△371,708	65,831	△1,878	△237,942	△1,030	△238,973	△887,315	△1,126,288

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等を含んでおります。
２　セグメント利益又は損失（△）の調整額△887,315千円には、セグメント間取引消去10,448千円、のれん償却額△132,008千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△765,755千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。